

安心・快適で視認性にも優れた、運転のしやすさ。



Photo:
G-ジャストセレクション(FF)
メーカーオプション装着車
メーター類は撮影のため点灯
画面はハメコ合成

交差点の右左折時などで安心感が得られる、パノラマ視界。

フロントビラーの断面形状をドライバーから細く見えるように設計。さらに、サイドウィンドウ下端のラインを前方に向かって低く設定するとともに、大型の三角窓を採用しました。これにより、右左折時などでの死角を減らすことができ、運転しやすく安心感のあるパノラマ視界を表現しています。



視認性に優れ、しかも素早く確認できる、アウトホイールメーター。

運転時の視界を考慮し、走行視界からの視線移動角度が少なく、かつ走行視界との焦点差が少なくなるよう、メーターをステアリングホイール外側のフロントガラス寄りに配置しました。スピードメーターを確認しやすいアナログ表示で半円形に配し、アクティブで上質なイメージを演出するブルー照明を採用。また、メーターパネル中央にはインフォメーションディスプレイを配置しています。

[インフォメーションディスプレイ]

瞬間燃費を常時表示。切り替えによってオド(積算距離)、トリップ(区間距離)、平均燃費、推定航続可能距離を表示



■タイプ別設定については、カタログをご参照ください。 ■小物類は撮影のために用意したものです。

最適なポジションに調整できる、テレスコピック & チルトステアリング。



後退時の運転をサポートする、後方視角支援ミラー(タイプ別設定)。

車室内のテールゲート上部に設置されたハイマウント・ストップランプの下側に、車両に近い後方を映すミラーを備えました。凹凸面鏡を採用することで車内からは死角となりがちなエリアを正立像として確認することができます。また、リアガラス下端に貼付された黄色い補助線がミラーに映ることで、およその車幅、自車と障害物との位置関係が把握しやすく、後退時の運転操作にいつもの安心感を与えています。

■後方視角支援ミラー視野範囲イメージ



補助線がミラーに映り、自車のおよその車幅および後端の目安となる

通常のミラー(平面・凸面)と異なり
光路が交差し、像が反転して正立像となる

